

---

# 1 はじめに

---

DRVIEW1605は、当社デジタルレコーダーC-DR1605、C-DR0905で記録されたCFC(コンパクトフラッシュカード)メディアを、Microsoft Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me、Windows XPで再生するアプリケーションソフトウェアです。

## 1.1 特徴

- 当社デジタルレコーダーC-DR1605、C-DR0905でCFCに記録されたデータの再生、および他のメディアにコピーされた記録データの再生 (Windows Explorerの及び範囲内)
- 記録日時、タイトル、アラーム種別、コメントを表示
- コメント検索、時刻検索、アラームインデックス検索、アラームリスト表示・検索
- 静止画像のズーム機能、カメラ切り替え機能、マルチ画像表示 (16、9、4分割)機能
- Windowsに対応したプリンタでの印刷
- ブックマーク機能、AB間リピート再生機能
- 音声再生機能 (一部条件除く)
- 汎用画像フォーマットへの一括画像変換 (JPEG、AVI)

## 1.2 動作環境

- Intel PentiumシリーズもしくはIntel Celeronシリーズ500MHz以上のCPUを搭載したIBM PC/AT互換機
- Microsoft Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me または Windows XP
- 256MB以上のメモリ
- 1024ピクセル×768ライン以上の解像度で、32,000色以上の表示ができるビデオアダプタとモニター
- CD-Rディスクが読み込み可能なドライブ
- インストール時に200MB以上のハードディスクの空き領域
- 一括変換を使用する場合は、サイズに応じたスワップ領域が確保可能なハードディスクの空き領域
- Microsoft Internet Explorer 5.01SP2以降のバージョンがあらかじめインストールされていること
- SoundBlasterなどのWindowsに対応したサウンドアダプタ

### お知らせ

- 動作環境は、すべての環境で動作を保証するものではありません。

## 1.3 対応デジタルレコーダー

- C-DR1605
- C-DR0905

### お知らせ

- 本説明書は、C-DR1605(16ch対応デジタルレコーダー)を対象に説明しています。C-DR0905(9ch対応デジタルレコーダー)では「16画面」ボタンが動作しないなど、ch数(画面数)に関する説明と実際の動作が一部異なることがあります。

# 3 メインウィンドウの表示と操作

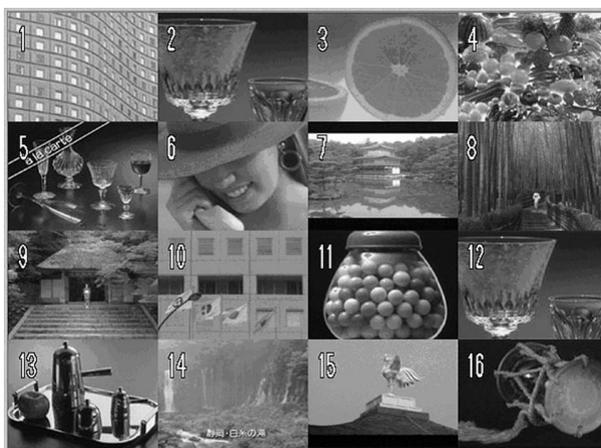
DRVIEW1605を起動すると、次のようなメインウィンドウが表示されます。



## 3.1 映像ウィンドウ

映像ウィンドウの分割表示時イメージは、下図のように表示されます。

例) 16分割画面のとき



分割画面表示時は、最後に更新された画面のカメラ番号が緑色から黄色へ変化します。各々の分割画像画面内でマウスの第1ボタン(標準設定では左ボタン)をクリックすると、そのカメラ番号の1画表示となります。

また、各々の分割画像画面内でマウスの第2ボタン(標準設定では右ボタン)をクリックすると、右のようなショートカットメニューが表示されます。



[コピー]は、[12ページ「5.1 コピーコマンド」](#)を参照してください。

[配置]からカメラ番号を選択すると、その画面位置に任意のカメラ番号を割り当てることができます。

[リセット]を選択すると、全フィールドのカメラ番号配置が初期設定に戻ります。

### お知らせ

- 同一番号のカメラを複数の分割画面に割り当てたときは、それらの画面の画像は同時かつ同一画像で更新されます。

## 3.2 操作パネル

操作パネルには、次のような機能があります。



ボタン	コマンド	機能
	先頭へ	現在のメディアの記録部分の先頭へ移動します。(再生が停止しているとき)
	逆サーチ	逆方向にサーチ再生します。 逆サーチ再生中(×1)に押すと、押すたびにサーチ速度がベーススキップ数の ×2 → ×4 → ×8 → ×1 → … となります。ベーススキップ数は、[表示]メニューの「オプション」コマンドの[サーチのコマ数]で指定することができます。
	逆再生	逆方向に再生します。
	コマ戻し	1コマ戻して停止します。
	停止	再生を停止します。
	コマ送り	1コマ送って停止します。
	再生	順方向に再生します。
	サーチ	順方向にサーチ再生します。 サーチ再生中(×1)に押すと、押すたびにサーチ速度がベーススキップ数の ×2 → ×4 → ×8 → ×1 → … となります。ベーススキップ数は、[表示]メニューの「オプション」コマンドの[サーチのコマ数]で指定することができます。
	ブックマーク	表示中の画像をブックマークに登録します。

ポジションスライダー(ボタンの上にあるスライダー)

マウスでドラッグすることにより、指定した再生位置に移動することができます。このときのスライダーの位置は、記録データの容量に対応しており、時間対応ではありません。



ボタン	コマンド	機能
	No.1~16	1画表示時の表示カメラを指定します。複数のボタンを押すと、シーケンシャルに表示されます。複数のボタンを同時に選択するには、キーボードのCtrlキーを押しながら選択します。
	4画面	4分割画面に切り替えます。押すたびに、画面レイアウトが 4a → 4b → 4c → 4d → 4a → … と切り替わります。初期設定は、左上から右下へ 4a : 1~4、4b : 5~8、4c : 9~12、4d : 13~16 となります。
	9画面	9分割画面に切り替えます。押すたびに、画面レイアウトが 9a → 9b → 9a → … と切り替わります。初期設定は、左上から右下へ 9a : 1~9、9b : 10~16・1・2 となります。
	16画面	16分割画面に切り替えます。初期設定は左上から右下へ1~16となります。

画像更改速度スライダー(ボタンの下にあるスライダー)

マウスでドラッグすることにより、画像データ再生中の再生速度や通信画像取得時の画像データ要求速度を調整することができます。

[速い](初期設定)では、各デバイスの最高速度で画面を更新します。また、[ゆっくり]では、最高速度にひとコマあたり、約3秒の待ち時間を加えます。[速い]と[ゆっくり]の間で、100段階の調整ができます。

操作パネルは、[表示]メニューの[操作パネル]コマンドで表示/非表示を切り替えることができます。

なお、再生動作ボタンは[操作]メニューで、[ブックマーク]ボタンは[ブックマーク]メニューの[ブックマークに登録]コマンドで、[1～16]・[4画面]・[9画面]・[16画面]ボタンは[表示]メニューの[カメラ]コマンドで操作することもできます。

### 3.3 情報パネル

情報パネルには、メディア情報や画像情報、画像サイズが表示されます。

情報パネル(とサーチパネル)は、[表示]メニューの[情報パネル]コマンドで、表示/非表示を切り替えることができます。

#### 3.3.1 メディア情報

メディア情報には、メディアに記録されている画像データの時刻の範囲が表示されます。

メディア情報は、一定時間(初期設定では3分)ごとに自動的に更新されます。



#### 3.3.2 画像情報

画像情報には、画像が記録された日付、時刻、カメラ番号、コメントが表示されます。

分割画面表示時には最後に更新された映像(メイン画像フィールドでカメラ番号が黄色の画像)の情報が表示されます。

また、アラーム記録されたコマを表示したときは「画像情報」の右横に赤い「\*」が表示されます。



#### 3.3.3 画像サイズ

画像サイズ(ズーム倍率)は、25%～800%の間で指定できます。



ズーム機能の詳細については、[P.16ページ「10 ズーム機能」](#)を参照してください。

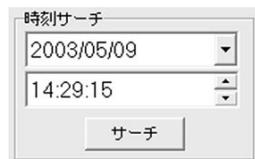
### 3.4 サーチパネル

時刻サーチ(タイムデートサーチ)、アラームリストサーチ、アラームインデックスサーチの3種類のサーチができます。

サーチパネル(と情報パネル)は、[表示]メニューの[情報パネル]コマンドで、表示/非表示を切り替えることができます。

#### 3.4.1 時刻サーチ(タイムデートサーチ)

指定した日時に最も近い記録を表示できます。



[時刻サーチ]の各テキストボックスに検索したい日付と時刻を入力して、[サーチ](検索)ボタンをクリックすると、指定した日時以降で最も近い画像を表示します。

時刻サーチは、[検索]メニューの[時刻...]コマンドで操作することもできます。

### 3.4.2 アラームリストサーチ

[アラームリスト]の[リスト表示]ボタンをクリックすると、アラームリストウィンドウが開きます。



リストから希望のアラームを選び、[検索]ボタンをクリックすると、選んだアラーム画像を表示することができます。また、[保存...]ボタンをクリックすると、アラームリストをタブ区切りのテキストファイルとして保存できます。ウィンドウ内の項目欄をクリックすると、項目ごとのソートをすることができます。

アラームリストサーチは、[検索]メニューの[アラームリスト...]コマンドで操作することもできます。

### 3.4.3 アラームインデックスサーチ

[インデックスサーチ]の[<] (前のアラーム)、[>] (次のアラーム)ボタンをクリックすると、それぞれ記録時刻の古い方向、新しい方向に向かってアラームが記録されたコマを検索し、見つかった場合はそのコマを表示します。



アラームインデックスサーチは、[検索]メニューの[前のアラーム]、[次のアラーム]コマンドで操作することもできます。

## 3.5 ステータスバー

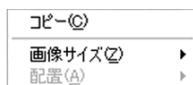
ステータスバーには、選択したメニューやボタンの説明と、現在の再生モード、現在の表示範囲が表示されます。



ステータスバーは、[表示]メニューの[ステータスバー]コマンドで、表示/非表示を切り替えることができます。

## 3.6 ショートカットメニュー

1画表示中に画像エリア上でマウスの第2ボタン(標準状態では右ボタン)をクリックすると、次のようなショートカットメニューが表示されます。



[コピー]は、[12ページ「5.1 コピーコマンド」](#)を参照してください。

[画像サイズ]は、[14ページ「9.3 画像サイズコマンド」](#)を参照してください。